

平成 28 年度第 2 回北方四島交流訪問事業（一般：択捉）

択捉島を訪問して…

2016（平成 28）年 5 月 27 日（金）～30 日（月）



【ホームビジット家庭で記念撮影】

北海道議会議員 北 口 雄 幸

平成28年度第2回北方四島交流訪問事業(一般:択捉) 日程[5月27日~5月30日]

日程	行程																																																																																																										
5/26 (木)	<p>[東京時間] 15:00 16:30 18:00</p> <table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>結団式</td> <td>事前研修会</td> </tr> </table> <p>北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ) 2階交流ホール</p>	受付	結団式	事前研修会																																																																																																							
受付	結団式	事前研修会																																																																																																									
5/27 (金)	<p>[東京時間] 9:10 9:30 10:40 13:00 13:30 15:00 23:00</p> <table border="1"> <tr> <td>集合</td> <td>乗船</td> <td>出港</td> <td>通過点</td> <td>到着</td> <td>入域手続・事務打合せ</td> <td>出発</td> <td>船内泊</td> </tr> <tr> <td colspan="3">根室港琴平町側岸壁</td> <td>N 43°28' E145°46'</td> <td colspan="3">国後島古釜布沖</td> <td>択捉島内岡沖</td> </tr> </table>	集合	乗船	出港	通過点	到着	入域手続・事務打合せ	出発	船内泊	根室港琴平町側岸壁			N 43°28' E145°46'	国後島古釜布沖			択捉島内岡沖																																																																																										
集合	乗船	出港	通過点	到着	入域手続・事務打合せ	出発	船内泊																																																																																																				
根室港琴平町側岸壁			N 43°28' E145°46'	国後島古釜布沖			択捉島内岡沖																																																																																																				
5/28 (土)	<p>[東京時間] 6:30 7:00 7:30 8:00 8:00 8:15 8:20 9:15 9:20 9:50 9:55 12:00 12:10 15:00 15:05 16:05 16:15 17:00</p> <table border="1"> <tr> <td>上陸準備</td> <td>はしけ乗船</td> <td>上陸</td> <td>視察</td> <td>表敬訪問</td> <td>視察</td> <td>視察</td> <td>視察</td> <td>A1班</td> <td>屋食</td> <td>休憩</td> <td>合流</td> <td>住民交流会</td> <td>市街地散策</td> <td>はしけ乗船</td> <td>船内泊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">択捉島内岡沖</td> <td></td> <td>郷土資料館 (新文化会館内)</td> <td>映画鑑賞・コンサートホール (新文化会館内)</td> <td>新文化スポーツ会館 (新文化会館内)</td> <td>紗那消防署</td> <td></td> <td>9:55</td> <td>カフェ「アリアンス」</td> <td>ヴァンナチカ温泉</td> <td></td> <td>12:10</td> <td>15:00</td> <td>15:05</td> <td>16:05</td> <td>16:15</td> <td>17:00</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B班</td> <td>休憩</td> <td>屋食</td> <td></td> <td>12:10</td> <td>15:00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9:55</td> <td>ヴァンナチカ温泉</td> <td>カフェ「アリアンス」</td> <td></td> <td>12:10</td> <td>15:00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>1.演奏会 2.意見交換会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>子供芸術学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	上陸準備	はしけ乗船	上陸	視察	表敬訪問	視察	視察	視察	A1班	屋食	休憩	合流	住民交流会	市街地散策	はしけ乗船	船内泊	択捉島内岡沖			郷土資料館 (新文化会館内)	映画鑑賞・コンサートホール (新文化会館内)	新文化スポーツ会館 (新文化会館内)	紗那消防署		9:55	カフェ「アリアンス」	ヴァンナチカ温泉		12:10	15:00	15:05	16:05	16:15	17:00									B班	休憩	屋食		12:10	15:00													9:55	ヴァンナチカ温泉	カフェ「アリアンス」		12:10	15:00																	1.演奏会 2.意見交換会																		子供芸術学校					
上陸準備	はしけ乗船	上陸	視察	表敬訪問	視察	視察	視察	A1班	屋食	休憩	合流	住民交流会	市街地散策	はしけ乗船	船内泊																																																																																												
択捉島内岡沖			郷土資料館 (新文化会館内)	映画鑑賞・コンサートホール (新文化会館内)	新文化スポーツ会館 (新文化会館内)	紗那消防署		9:55	カフェ「アリアンス」	ヴァンナチカ温泉		12:10	15:00	15:05	16:05	16:15	17:00																																																																																										
								B班	休憩	屋食		12:10	15:00																																																																																														
								9:55	ヴァンナチカ温泉	カフェ「アリアンス」		12:10	15:00																																																																																														
												1.演奏会 2.意見交換会																																																																																															
												子供芸術学校																																																																																															
5/29 (日)	<p>[東京時間] 6:30 7:00 7:40 8:05 8:10 8:20 8:35 9:25 9:30 10:00 10:05 13:15 13:25 13:55 14:05 14:50 15:00 16:50 17:10 22:00 【30日】 6:00</p> <table border="1"> <tr> <td>上陸準備</td> <td>はしけ乗船</td> <td>上陸</td> <td>墓参</td> <td>視察</td> <td>視察</td> <td>視察</td> <td>ホームビジット(屋食)</td> <td>視察</td> <td>視察</td> <td>夕食交流会・コンサート</td> <td>はしけ乗船</td> <td>出発</td> <td>船内泊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">択捉島内岡沖</td> <td></td> <td>紗那日本人墓地</td> <td>展望台(アンデレ像)</td> <td>幼稚園「金魚」</td> <td>別飛診療所</td> <td>紗那・別飛</td> <td>択捉空港</td> <td>内岡水産加工場</td> <td>カフェ「アリアンス」</td> <td>17:10</td> <td>22:00</td> <td>国後島古釜布沖</td> </tr> </table> <p>出発:別飛広場 集合:紗那子供学校</p>	上陸準備	はしけ乗船	上陸	墓参	視察	視察	視察	ホームビジット(屋食)	視察	視察	夕食交流会・コンサート	はしけ乗船	出発	船内泊	択捉島内岡沖			紗那日本人墓地	展望台(アンデレ像)	幼稚園「金魚」	別飛診療所	紗那・別飛	択捉空港	内岡水産加工場	カフェ「アリアンス」	17:10	22:00	国後島古釜布沖																																																																														
上陸準備	はしけ乗船	上陸	墓参	視察	視察	視察	ホームビジット(屋食)	視察	視察	夕食交流会・コンサート	はしけ乗船	出発	船内泊																																																																																														
択捉島内岡沖			紗那日本人墓地	展望台(アンデレ像)	幼稚園「金魚」	別飛診療所	紗那・別飛	択捉空港	内岡水産加工場	カフェ「アリアンス」	17:10	22:00	国後島古釜布沖																																																																																														
5/30 (月)	<p>[東京時間] 7:00 8:30 10:50 12:00 12:20 12:30 13:00</p> <table border="1"> <tr> <td>出域手続・事務打合せ</td> <td>出発</td> <td>通過点</td> <td>帰港</td> <td>上陸手続</td> <td>下船</td> <td>解散</td> <td>記者会見</td> </tr> <tr> <td colspan="2">国後島古釜布沖</td> <td>N 43°28' E145°46'</td> <td></td> <td colspan="3">根室港琴平町側岸壁</td> <td>千島会館</td> </tr> </table>	出域手続・事務打合せ	出発	通過点	帰港	上陸手続	下船	解散	記者会見	国後島古釜布沖		N 43°28' E145°46'		根室港琴平町側岸壁			千島会館																																																																																										
出域手続・事務打合せ	出発	通過点	帰港	上陸手続	下船	解散	記者会見																																																																																																				
国後島古釜布沖		N 43°28' E145°46'		根室港琴平町側岸壁			千島会館																																																																																																				

択捉島

全通称地図

【散布山(ちりっふやま)】

標高1,582m、択捉島第2の標高(最高峰は西単冠山1,629m)。すそ野が広く美しい。
※26年8月に国土地理院が標高を修正。以前は散布山が最高峰



【紗那沼】(紗那)



【ザラタヤ・リュプカ 幼稚園】(別飛) 2011年9月開園の新幼稚園。定員55名。



【内岡港】

交流で訪問した際に、我々が上陸する港である。現在は内岡沖ではしけに乗り換えて上陸している。全長145mの岸壁と港湾ターミナル(左写真)が2014年完成。整備費用は総額13億5600万ルーブル。

天寧空港(プレベスニック空港)



【温泉施設】指臼山近辺

ギドロストロイ社が建設し、管理している。無料で利用できる。



【地熱発電所】

島の中部、指臼(さしうす)山の近くにある発電所。2016年閉鎖との報道あり。



【ディーゼル発電施設】

平成11年に北方四島住民支援として日本政府より供与された



【ダーチャ】

択捉島概要

- 【面積】約3,166.6km²
(沖縄本島(1,207km²)の約2.6倍で、鳥取県(3,507km²)に近い面積)
- 【人口】約6,200人(平成27年現在)
- 【経済】《水産加工業》ギドロストロイ社という一大企業があり、漁業・水産加工業を基盤に、運輸・観光・銀行などの事業を展開している。択捉島の就業人口の7割がギドロストロイ社に雇用され、また同社の納税額は島の歳入の約8割に及ぶといわれる。
《農業》島には産業としての農業は存在しないようだが、自家農園や「ダーチャ」と呼ばれる農園付簡易別荘での野菜づくりが盛んに行われている。
- 【空港】択捉(ヤースヌイ)空港とユジノサハリンスク空港との間を週3便、50人乗りのDHC-8型機が1時間20分で結んでいる。
霧による欠航が多い太平洋側の天寧空港に比べ、オホーツク海側の新空港は霧の影響による欠航が少ないとのことである。

【ギドロストロイ社水産加工場】(別飛)



紗那

しやな

人口約1,700人を擁する択捉島の中心地

【紗那遠景】

写真左の赤い屋根が「行政府」庁舎。右の青い屋根は芸術学校。



【紗那初等中学校】

小中高の一貫した11年制で、就学は7歳から。義務教育は9年までで、10年以上は進級試験が実施され、11年就学後には大学受験資格が与えられる。新学期は9月から始まり、6月から8月いっぱいまで夏休み。

マスコミ事情

択捉島には「クラスヌイ・マヤーク(赤い灯台)」という地元新聞社があり、週2回新聞を発行している。また、テレビは「ロシア公共テレビ」「第1チャンネル」「NTV」の3つの全国放送が視聴でき、サハリンの放送は、「ロシア公共テレビ」のチャンネルで1日1~2時間の放送を行っている。

【芸術学校】



【ホテル・イトウルプ】



【スポーツ文化会館】

紗那の町はずれに2015年12月オープン。体育館、プール、文化会館、行政機能などが集約されている。



【ギドストロイ体育館】

テニスコートが1面入る大きさ。奥では柔道の練習をしている。

【温泉施設】 紗那近郊にあるギドストロイ社経営の温泉施設。



【道路】

ほとんど舗装されていなかったが、平成23年夏、ついに紗那の目抜き通りがアスファルト舗装された。紗那から別飛までの13.7kmの舗装工事は平成26年完了予定。



舗装前の紗那市街



平成26年9月の紗那市街
(左写真と同地点)



【「クリル地区行政府」】



【地区中央病院】

2009年に完成し、2010年4月から診療を開始した。ベッド数は50。

【お店】

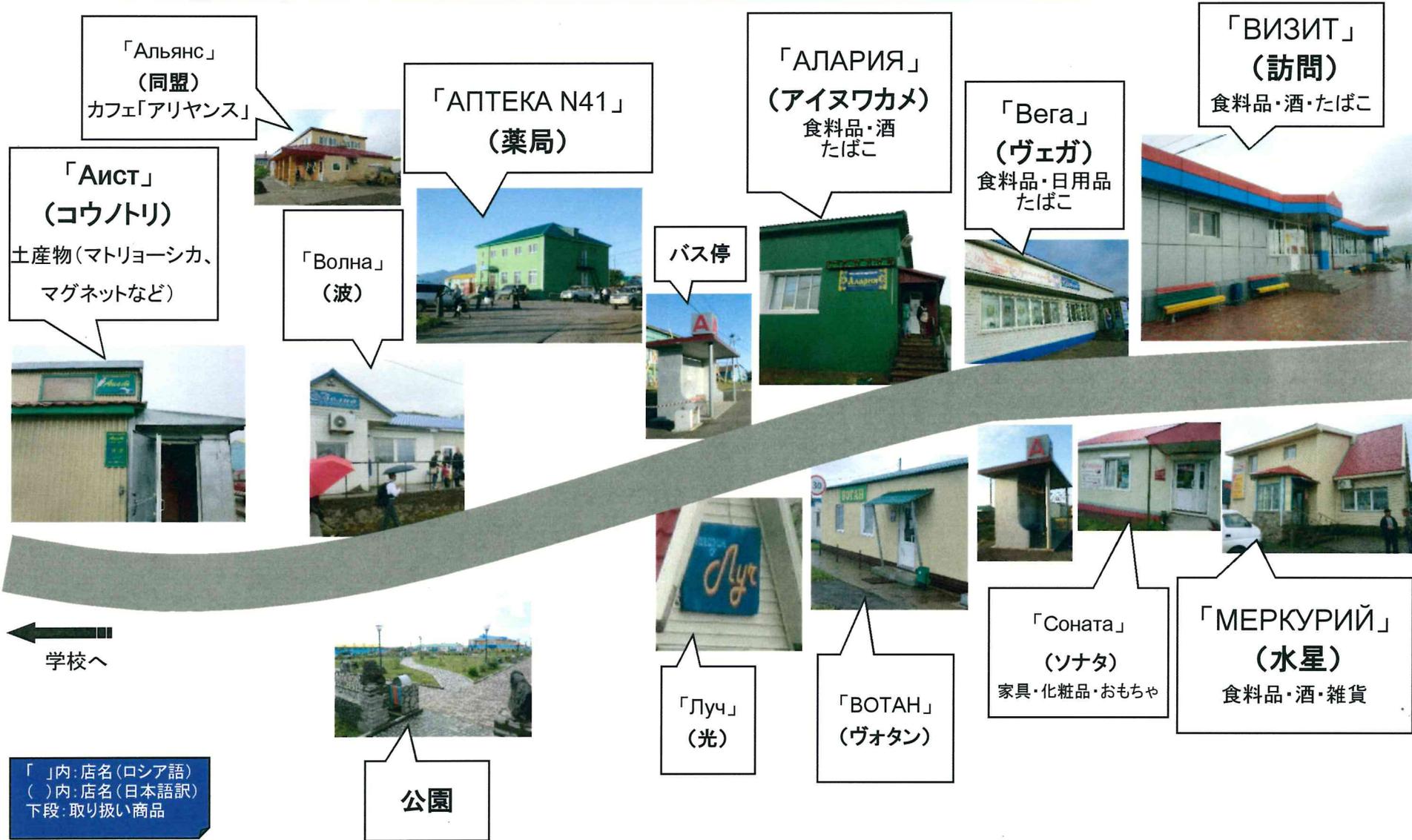
紗那市内のスーパー内。ロシア製品に加え、中国製品や日本製品も品揃え豊富。



【ロシア正教会】

2010年に改修された。中に入る場合、女性はスカーフ等で髪を隠す必要がある。

択捉島しゃなMAP



◆5月27日（金）北方四島訪問 1 日目

今日（27日）は、北方四島交流訪問事業の1日目だ。今年で25年目となる北方四島交流訪問事業は、今年度2回目であり、今日から30日までの日程で北方四島最大の島、択捉島を訪問することとしている。

朝8時40分、根室市内のホテルを出発。根室港に到着するとすでに50名ほどの皆さんが私たち訪問団を見送るため待機してくれている。この皆さんの思いのためにもしっかりと交流訪問を成し遂げなければと、心に誓う。

9時10分頃には、今回の訪問メンバー63名と国後島での日本語指導のために約30日間滞在する4名、択捉島の歴史や文化などを調査する北海道博物館の4名を合わせた総勢71名が、『えとぴりか丸』が停泊する根室港に集まり、出発式を行う。出発式で長谷川団長は、「しっかり交流を深めながら、この事業の目的を達成していきたい。」と挨拶。団員番号順に乗船する。



【『えとぴりか丸』の前で記念撮影】



【多くの皆さんに見送られ出港】



【島民の思いを描いた横断幕】



【元島民の皆さんも一緒に訪問】

9時30分、私たちを乗せた『えとぴりか丸』は、50名を超える皆さんに見送られながら、静かに岸壁を離れる。見送りの中には、「ふるさとの四島（しま）へ行ってらっしゃい」との横断幕を掲げる皆さんもいる。「ふるさとの四島」の文字が私の心に重く響いてくる。

濃い霧に覆われながらも順調に航海を進める『えとぴりか丸』は、10時40分頃に北海道と四島の間点（北緯43度28分東経145度46分）を通過。事務局からは、これ以降はインターネットなどを控えるようにとの指示で、スマホもタブレットも機内モードにし、ネット社会から遮断される。監視されない時間が、こんなに快適なのかと考えながら、船内では今後の日程や注意事項などを確認するオリエンテーションが始まる。

12 時頃には、船内での初めての食事が提供され、今日のお昼はカレーライスである。なかなか美味しくいただき、揺れも少なく、豪華客船に乗っている錯覚をも覚える。

13 時 30 分頃には国後島古釜布沖に停泊、ロシア政府の国境警備隊を待つ。ほどなく巡視艇が横付けされ、約 10 名の警備隊員が乗り込んでくる。択捉島への入域書類を確認、その後一人ずつ並ばされ、本人確認のチェックだ。それも一通り終わると国後島での日本語を指導する 4 名が、下船し巡視艇に移動する。残ったメンバーで、一路択捉島をめざす。この頃には、霧も少し晴れ、国後島の島の様子が見られるようになった。ラッキーなことである。



【美味しいえとぴりかカレー】



【ロシア国境警備隊の入域手続き】

16 時頃には、乗船者全員食堂に集められ、明日の島内での行動予定を確認し、島内での住民交流会でフルートを演奏する北海道教育大学岩見沢校の 3 名がリハーサルを兼ねた演奏を披露してくれた。さすが、木管楽器（フルート）研究室に所属するだけの実力だ。美しい音色に全員うっとり。その頃には、『えとぴりか丸』も四島最高峰の爺爺岳（ちゃちゃだけ：1,772m）を通過し、勇壮な姿を私たちにを見せてくれる。その迫力のある爺爺岳に、いつか登って見たいとの感情を抑えながら、夕陽に染まる爺爺岳を撮影する。



【四島の最高峰「爺爺岳」を望む】



【夕陽に染まる爺爺岳が美しい】

今回の船旅で、最大の難関は国後水道を通過する時だと教えられた。揺れがひどいので、酔い止め飲むようにとの指導もあり、緊張しながら通過を待つが、思ったよりも揺れは少ない。ありがたい限りだ。国後水道を無事通過し、択捉島沖を航行する頃には、揺れもほとんど無く、快適な船旅である。

船内の食堂では、それぞれの場所で、メンバー同士のお酒を酌み交わしての交流が始まり、交流が深まると同時に酔も深まる。今日からあすに変わる 23 時頃には、択捉島のナヨカ湾に停泊し、私たちも深い眠りに入り、翌日を迎える。

◆5月28日（土）北方四島訪問2日目

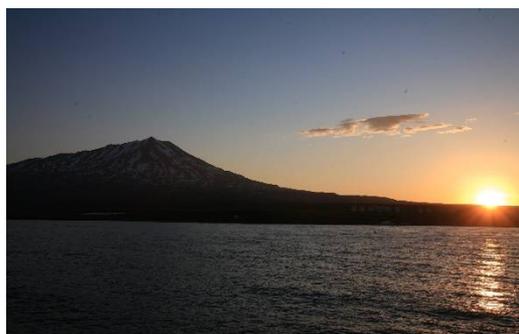
今日（28日）は、北方四島交流訪問事業の2日目で、実質的な択捉島民との交流の初日だ。

2時30分に目が覚め、船内での入浴を楽しむ。4つのシャワーブースと4人分の洗い場がある。5名も入ると窮屈になる浴槽に身を沈め、今日からの交流に対する期待も高まる。

3時、まだ夜は開けていないが、東の空か明るくなりかけている。『えとぴりか丸』のデッキに向かうと港や街並み、択捉島で2番目に高い散布山（ちりっぷやま：1,582m）が私たちを出迎えてくれる。美しい散布山は、登山意欲を一層かきたてるが、ロシアに実効支配され、簡単に登れない現実が厳しくのしかかる。



【択捉島で2番目に高い「散布山」】



【朝日を浴びる「散布山」】

3時40分、太陽が少しずつ顔を出す。周りが一気に明るくなる。今日のお天気は良さそうだ。めったに、見られない光景に夢中でシャッターを切る。しっかり、記憶と記録に留めるのも重要な役割である。5時（日本時間）から朝食だ。択捉島の朝は早い。北海道よりも東に位置するため、2時間は早い行動になる。7時、はしけ船に2班に別れて乗船。私たちは先発隊として残ったメンバーに見送られながら、はしけ船で択捉島に上陸する。島では、政府が用意した年代物のマイクロバスで港内を移動、島内を案内してくれる乗用車に分乗する。

まず、私たちが訪れたのは、択捉島紗那にある文化スポーツ館だ。この施設は、昨年12月に完成し、ビザ無し訪問団を迎えるのは私たちが初めてだと強調する。真新しい文化スポーツ館は、博物館や図書館、インターネットルーム、体育館、プール、トレーニングルームなどを併設する総合会館である。まず、博物館を案内され、アイヌ民族が居住していた歴史や日本人が残したものなどが展示され、紛れもなくこの地が日本国であったことを物語っている。その後には図書館や体育館、プールを案内されたが、入った瞬間に鼻をつく臭いに驚かされた。たぶん、シックハウス対策はされていないのだろう。メンバーのひとりが、頭が痛くなったとつぶやいたのが印象的であった。



【真新しい文化スポーツ会館】

その後、300名ほど入るホールに案内され、シュートフ副行政長との表敬訪問では、副行政長からは、「択捉は変わったと思う。この建物も素晴らしい。今後、110名の保育所と4棟の住宅建設を予定しており、道路や学校の整備も進めている。6月5日には、クリル地区70年となり、お祝いも予定している」と、択捉島の開発に力点を置いた話をされた。一方、長谷川団長は、「この交流事業で、大きな壁が少しずつ低くなっている。今後、領土問題を含む平和条約の締結に向け、相互交流を深めたい」と、この交流事業の意義を強調する挨拶をされた。



【シュートフ副行政長と長谷川団長】

その後一行は、昼食を摂り、ヴァンナチカ温泉を2班に分かれて訪問。ボルシア料理が出されたが、量の多さもあり、残してしまった。そして、温泉では、足湯を楽しんできた。

午後からは択捉島民との住民交流会で、紗那子供芸術学校を訪問した。この子供芸術学校は、放課後の子どもたちを預かり、歌や踊り、絵画などの教養を高めるため、また本土の子供たちと同じ教育水準を保つために、政府が用意した学校とのことだ。この学校には、4人に1人の割合で入学し、専任の指導員から指導を受けている。

住民交流会では、まず日本側から教育大岩見沢校3名による、フルート演奏8曲を披露。芸術学校の子供たちからは、歌や踊り、ピアノや、ギターなど16のプログラムが披露された。その後、5つの班に分かれ、「生活と音楽等の文化について」の意見交換会で、私たちの班では、日本とロシアの子供たちの放課後の暮らし方や子供芸術学校の仕組みなどを中心に話し合った。



【日本からはフルート三重奏】



【ロシアの皆さんと意見交換】

今日の最後の訪問は、市街地散策として、商店街訪問である。ミニスーパーや商店が立ち並ぶ繁華街を訪れ、それぞれ思い思いの品を買い求めた。私は、1,000ルーブル（約2,000円相当）を両替していたので、自宅まで持ち帰ることができる香辛料やスープを購入した。

16時15分になると港に集合。はしけ船にて『えとびりか丸』に帰船し、択捉島一日目の訪問を終えたところだ。

◆5月29日（日）北方四島訪問3日目

今日（29日）は、北方四島交流訪問事業の3日目で択捉島視察訪問の2日目だ。

今日も昨日に引き続き2時30分に目が覚め、入浴や訪問報告資料を整理する。そして朝5時に朝食。こんなに早い食事はめったにない。7時には、はしけ船で紗那港に上陸。紗那にある日本人墓地の墓参だ。この墓地には、日本人のほかロシア人の墓地とも共有し、現在ではロシア人墓地が増えているという。戦後70年以上が経過し、お参りする人もほとんどなく、墓石が倒れたり崩壊したものもあり、嫌が応でも70年という時の流れを認識させられた。また、先人の霊を慰めるためにも、墓地の調査などの必要性を感じたところだ。



【紗那の日本人墓地を墓参】



【倒壊している墓石】

その後、近くの集落「別飛（べつとび）」に移動し、幼稚園と診療所を視察した。ザラカヤ・リュプカ幼稚園は、日本名で「金魚幼稚園」といい、2011年9月に定員55名で開園した公立幼稚園である。現在では、1歳半から3歳未満児18名、3歳から5歳未満児が20名、5歳から6歳の年長が22名の合計60名が在籍している。近年は、ロシア政府の移住政策もあり、子どもの数が増加しているという。保育時間は、7時45分から18時15分の10時間30分で、朝・昼・夜の3食とおやつを提供しており、保育料の負担はないが食費として1人4,000ルーブルを支払っているとのことである。しかし、政府からは1人目が25%、2人目が50%の補助があり、さらに母子家庭等には別な優遇措置もあるという。次世代を担う子供を大切にしたい意欲が感じられた。



【園児による遊戯を披露】



【移住政策で子供が増えている】

その後、保育園の近くの別飛診療所を視察。この診療所は、昨年12月に設置され、総合内科医と小児科医が勤務し、リハビリや産婦人科医は、出張医で対応している。また、看護師は、準医師の資格を持ち、救急救命時の対応をしている。医療費は、健康保険制度で無料とのことだ。正直、人口1,220人の別飛地区で、このような医療体制を持っていることに驚いた限りだ。

その後、紗那に戻り、ホームビジットである。私が訪問した家庭は、建設関係のお仕事をしているご主人（通称：セミヤ、62歳）、病院に勤務する奥様（通称：ターニャ、52歳）、10歳の息子アントンの3名家族である。そのほか、サハリンに31歳の長男と長女がいるとのことだ。ちょうど、お昼時にお邪魔したため、手料理でのおもてなしを受け、ターニャは料理が得意らしく、レストランで食べた料理よりも美味しく、夫が作った水餃子も美味であった。私が撮影した北海道の山の写真や山谷副知事の新幹線の話に興味を持ってくれた。ご夫婦が特に仲良く、「新婚のようですね」というと、「結婚して14年になるが、仲がいいんだよ」と、抱き合いながらおどけて見せてくれた。詳しく話を聞くと、夫が4回目で妻が3回目の結婚で、理想のパートナーに出会ったとのことだ。今年の6月には、ビザなし訪問で家族そろって北海道に来るとのことであり、とても楽しみにしているようであった。



【家族仲の良いセキヤさん一家】



【ターニャの手料理で歓迎を受ける】

午後からは、サケマス孵化場を視察。この孵化場は、2012年から稼働し、56の養殖プールには最大3,800万匹の稚魚を養殖でき、北海道の養殖場の倍近い規模だそうだ。また、設置場所が海岸に近く、海水で養殖するため、成長が早いのも特徴だという。一方で、日本では禁止されている薬剤などを使っており、環境に対する配慮と意識は、これからというところだろうか。いずれにしても、ロシアでこのように大規模の養殖が行われているとすれば、世界のサケマスの流通に大きな影響を与える危惧もあり、注視が必要だと一緒に訪問したメンバーが語っていたところだ。



【最大3,800万匹の養殖が可能】

訪問事業の最後は、カフェ「アリヤンス」での夕食交流会である。私たち訪問団を受け入れてくれた関係者との交流会であるが、ロシア側として私たちを最高パートナーとしてのおもてなしを受け、歌や踊り、食べきれない料理で歓迎していただいた。ただ、この交流会でもロシア側の最高責任者として対応してくれたのは、シュートフ副行政長であり、最高責任者である行政長が本当に不在だったのか、私の中には疑問として残ったところだ。



【踊りなどで歓迎を受ける夕食交流会】

夕方には、港に戻り、はしけ船にて『えとぴりか丸』に帰船した訳だが、風とともに波が高く、『えとぴりか丸』の乗組員は、事故がないよう、必死の作業で無事乗船することができ、乗組員には感謝である。

18時には『えとぴりか丸』も択捉島ナヨカ沖を離れ、出域手続きを待つ国後島の古釜布をめざした。この日は、波が高いとのことで、酔い止めの薬を飲んだこともあり、翌朝4時まで爆睡し、3日目を終えたところだ。

◆5月30日（月）北方四島訪問4日目

今日（30日）は、北方四島交流訪問事業の4日目であり、いよいよ根室港に帰港する日だ。

朝4時、同室メンバーのアラーム音で起床。入浴を済ませデッキに登ると、『えとぴりか丸』は国後島のシンボル爺爺岳が後方に霞んで見える。間もなく、古釜布沖に到着だ。しばらくすると古釜布沖近くの大岬の建物が間近に見え、ロシア軍の軍艦と思える大型船が停泊している。この地域がロシアにとっても重要な地域である証拠なのだろう。



【視みを利かすロシア軍船】

6時からの朝食を終え、国境警備隊の出域手続きを待つ。7時過ぎに国境警備隊が乗り込み、事務局と出域手続きを終え、個人確認したところで、『えとぴりか丸』は根室港をめざす。

8時20分から解団式を行い、長谷川団長は、「今回の訪問では、初期の目的を達成することができ、全行程を無事こなすことができた。また、島では暖かいおもてなしの歓迎を受けた。領土問題は難しい課題ではあるが、交流を深め課題解決に向けていきたい。参加したメンバーは、今後一人ひとりが領土問題について積極的に議論して欲しい。」との思いを語られた。

その後、10時から昼食をとり、11時50分に下船。約20名の皆さんが私たちの帰りを迎えに来てくれ、4日ぶりで北海道の地に立つ。「やっぱり北海道はいいなあ」と感じた一瞬だ。



【“お帰りなさい”に出迎えられる】



12時30分から根室市内の千島会館で記者会見を行い、それぞれの立場から感想を述べたところだ。私からは、「想像以上のインフラ整備に驚く。特に、空港や道路、住宅、文化スポーツ施設など、ロシア政府の移住促進政策の決意がうかがわれる。このことは、ロシア政府による実効支配をさらに強化するものであり、憤りを感じたところだ。今後、日本としても、全国民を巻き込んだ

返還運動を進めなければならない。また、紗那の墓地を墓参したが、墓石が倒れたり破損しているものもあり、先人の霊を慰める意味も含めて、調査や修理をすべきと感じた。」と述べさせていただいたところだ。

午後からは、帰りの飛行機の時間が夕方だったこともあり、根室振興局の職員の案内で根室市の納沙布岬と別海町の「野付半島ネイチャーセンター」を訪問した。納沙布岬から貝殻島までの距離は3.7km、日本政府が1937（昭和12）年に設置した貝殻島灯台が肉眼でも確認することができる。そして、その手前である1.8m地点に赤いブイがある。これがロシアと中間の参考ラインで、これを越えるとロシアの巡視艇に拿捕されるとのことだ。今日も目の前でロシアの漁船が操業をしており、つくづく近くて遠い島を感じさせられたところだ。



また、北方領土で2番目に大きい国後島は、野付半島のネイチャーセンターから16kmの距離にあり、島の輪郭はもちろん、爺爺岳まで見える日もあるという。ただ、爺爺岳が見えると、翌日は必ず雨になるとの伝説を教えてください、全日程を終えたところだ。

◆択捉島を訪問して…

今回、初めての択捉島訪問の機会を得た。

私にとっては、未知の世界であっただけに、期待と同時に元島民の皆さんの思いに寄り添えるか、自分なりの課題を持っての訪問であった。

また、事前の調査や聞き取りでは、インフラ整備はそんなに進んでいないとのことであり、それらの事情も知りたいと思ったところだ。

しかし、訪問して、事前の不正確な情報に驚くとともに、ロシア政府の移住政策、発展計画に驚かされた。特に、住民を満足させる文化スポーツ館の建設や道路の舗装、空港の開設、真新しい保育所や診療所の新設など、ここ近年で多額の資金が充てられたようである。

また、教育に力を入れていると感じた。首都モスクワと同程度の教育環境を整備しようと、公立の芸術学校や保育環境の整備など、次代を担う子供へのしっかりとした投資を感じたところだ。

今回の訪問で、今後の返還運動についても、工夫が必要と認識した。もっと、日本国民全体が北方領土について関心と認識を共有し、全国民一丸での返還運動を展開しない限り、返還は厳しいのではと感じたところだ。そのためには、近代歴史の学習も必要だろう。小中高と、年代に合わせた教育の見直しも求めていかなければならないだろう。

また、紗那の墓地で墓参したが、人道的配慮からも墓地の調査と墓石の整備などを進めるべきと考える。